

平成29年度

事業報告書

平成29年 4月 1日から
平成30年 3月31日まで

「平成29年度事業報告」目次

概 況

〈事業活動〉

1 浄化槽による公共用水域の水質保全事業（公益目定事業1）

（1）浄化槽法第7条及び第11条に規定する浄化槽の法定検査事業	1
（2）検査台帳の整備及び浄化槽データの管理に関する事業	5
（3）不適正浄化槽の改善指導と水質改善に関する調査研究事業	6
（4）浄化槽の機能保証制度に関する事業	7
（5）浄化槽の適正な施工及び維持管理に関する啓発及び相談、確認調査等の事業	7
（6）浄化槽に関する講習会・研修会の開催事業	9
（7）浄化槽に関する情報の収集、情報誌の発行事業	10
（8）地域の水環境保全のため浄化槽の普及を図る事業	10
（9）その他地域の水環境保全及び公衆衛生の意識高揚を図るための事業	11
（10）その他の事業	15

2 計量証明事業（収益事業1）

（1）計量証明事業及びビル管理法に基づく水質検査事業	17
（2）分析業務に関する講習会・研修会	17

3 受託講習会及び業務効率化支援、並びに各種用紙・物品販売事業（収益事業2）

（1）浄化槽関係技術者の育成と技術向上に関する事業	17
（2）浄化槽関係業者の事業の適正化及び効率化を支援する事業	21
（3）その他前各号に関連する事業	21

4 管理部門

（1）法人運営（管理）に関する事業	22
（2）会員関係	23
（3）その他	24

5 附属明細書

.....	25
-------	----

平成29年度 事業の実施状況

〈概況〉

平成29年度は、公益目的事業において、法定検査事業は「浄化槽維持管理標準契約制度」、「一括契約制度」、「浄化槽管理士特別認定制度」、「継続検査申込」などの推進に加え、地道ではあるが、浄化槽管理者への電話や直接訪問による受検勧奨によって、目標とする受検数を達成することができた。また、啓発事業については、従来の子供たちへの環境学習に加え、地域のボランティア団体等からの水の浄化に関する講習会の開催依頼が増え、昨年度実績にも増して浄化槽の果たす役割についての啓発機会が増加した。

収益事業においては、環境計量証明事業は前年度と比べ件数・売上は減少したが、物品販売等事業については、会員の協力によりPC底板等の売上を伸ばした。

このような中、組織運営については、公益認定法人となって以降、センターの運営に多様な会員の意見を踏まえるべきだとの指摘もあった。改めて地域単位で会員と協議をし、会員の要望を確認したところ、公益法人としての活動を評価する声もある一方、旧支部のような地域での業種を横断した連携・交流が図れるような組織運営を望む意見も出された。

センターは公益法人として法令を遵守しつつ、法定検査を核とする公益目的事業を推進することが最重要であるが、今後、各会員の意見を踏まえた活動を可能にする方策を検討することが求められている。

その他、平成29年度の事業計画に基づき実施した事業は、次のとおりである。

【公益目的事業1】

1 浄化槽による公共用水域の水質保全事業

(1) 浄化槽法第7条及び第11条に規定する浄化槽の法定検査事業 495,051千円

1) 平成29年度は、稼働人員37名体制で、87,685基（年間計画数87,000基に対し101.4%）を実施した。（P.29～P.37）

区分	28年度 検査状況	29年度 検査状況	増減
検査員数	37名	37名	+0名
7条検査	2,722基 (25,145千円)	2,683基 (24,852千円)	△39基 (△293千円)
11条検査	83,758基 (463,769千円)	85,002基 (470,199千円)	+1,244基 (+6,430千円)
合計	86,480基 (488,914千円)	87,685基 (495,051千円)	+1,205基 (+6,137千円)

また、検査手数料収入は、495,051千円で前年度比6,137千円増となっている。

11条検査については、昨年度対比で1,244基増（対目標値101.5%）と目標を上回ったものの、依然として全体の4割は未受検となっているため、保守点検・清掃事業者と連携した特別認定管理士や一括契約協議会方式などの推進や継続検査申込の普及に努め、受検率の向上と維持管理の適正化を図りたい。

2) 法定検査の受検督促

法定検査の受検督促については、平成28年度の未受検者を対象とし、センターから受検指導を行った後に、各県民局長名による督促指導を行った。

受検指導にあたり、案内や電話による同一施設への度重なる受検勧奨を積極的に行った

が、結果として前年度比246基減となった。

前年度未受検 検査実施数：	平成28年度（6,951基）	
	平成29年度（6,705基）	▲246基
※下の①、②の合計数以外に、受検文書通知を送付していない施設（電話勧奨のみ）の受検件数も含まれております。		

- ① センターからの受検指導文書通知後、電話アポインター（5名）や近隣施設の検査を担当する検査員によって受検指導を行った。その結果は次のとおりである。（P.38）

<センター受検指導>

管 轄	平成28年度		平成29年度		前年度対比 (検査数)
	案内数	検査数(率)	案内数	検査数(率)	
東部保健福祉局(徳島)	158,157	2,549(1.6%)	112,616	2,628(2.3%)	+79
南部総合県民局	23,615	577(2.4%)	14,782	390(2.6%)	▲187
東部保健福祉局(吉野川)	16,503	696(4.2%)	15,922	240(1.5%)	▲456
西部総合県民局	13,356	451(3.4%)	13,286	390(2.9%)	▲61
合 計	211,631	4,273(2.0%)	156,606	3,648(2.3%)	▲625

- ② センターからの受検指導後も未受検の施設については、各県民局長名による督促指導を行った後、再度電話アポインターや近隣施設の検査を担当する検査員によって受検指導を行った。その結果は次の通りである（P.38）

<行政からの文書指導>

管 轄	平成28年度		平成29年度		前年度対比 (検査数)
	案内数	検査数(率)	案内数	検査数(率)	
東部保健福祉局(徳島)	44,733	990(2.2%)	45,232	963(2.1%)	▲27
南部総合県民局	8,906	277(3.1%)	8,263	832(10.1%)	+555
東部保健福祉局(吉野川)	6,673	153(2.3%)	6,779	169(2.5%)	+16
西部総合県民局	6,021	276(4.6%)	6,084	294(4.8%)	+18
合 計	66,333	1,696(2.6%)	66,358	2,258(3.4%)	+562

- ③ センターからの受検指導通知・各県民局長名による督促指導通知に併せて行った電話アポインターの受検指導の実績は次のとおりである。（P.38）

未受検における連絡不通の対策として、過去の連絡履歴を分析し、受検勧奨の時間帯をずらせる等の措置を講じたが、督促対象者の固定化等の理由により電話アポインターの受検勧奨による申込率は昨年度（7.7%）と比べ減少した。今後は、アポインターの勤務時間を在宅率の高い時間帯に変更する、獲得率の高いアポインターの方式を教育に取り入れるなど受検率の向上を目指したい。

電話アポインターによる受検指導	電話連絡総数	57,921件
【内訳】	申込済み	3,769件（6.5%）
	未検査	51,340件（88.6%）
	休止・廃止	2,812件（4.9%）

- ④ 那賀町らくらくあんしん協議会は、設立後8年目を迎え、6月に第7回通常総会を開

催し前年度の実績報告・決算報告を行った。(P.39)

平成29年度の維持管理一括契約数は、点検業者や法定検査時の案内により入会勧奨を行ってきたが、新規契約数が21件(総合計941件)と年々伸び悩んでいる。

原因として、那賀町は人口減少と高齢化が進み、浄化槽新設件数が少ないことや、補助金を受けるメリットがない単独浄化槽の設置が多いことなど、協議会への加入が見込めない状況が挙げられる。また、老後施設への入所や契約者の死亡などにより契約解除の件数も増加している。

今後は、法定検査による水質悪化施設への転換指導や、設置補助等の制度の情報提供を行うことによって合併浄化槽への転換、さらには協議会加入につながるよう推進していきたい。

なお、協議会加入の単独浄化槽については、浄化槽管理士特別認定制度による認定管理士によって312件の法定検査(一次検査)が行なわれた。

<開催事業>

(6/14日) 那賀町浄化槽らくらくあんしん協議会 第7回通常総会

(3/20日) 那賀町浄化槽らくらくあんしん協議会会議

浄化槽設置数(10人槽以下): 2, 032基 維持管理一括契約数: 941基 (46.3%)

那賀町らくらくあんしん協議会



第7回通常総会(6/14日)



協議会会議(3/20日)

⑤ 神山村きれいな水づくり推進協議会は、設立後5年目を迎え、6月に第6回通常総会を開催し前年度の実績報告・決算報告を行った。(P.40)

平成29年度の維持管理一括契約数は、点検業者による入会勧奨や法定検査時の案内を行ってきたが、22件(総合計483件)と契約数の伸び率が鈍化している。

多くの設置者が使用人数の減少などを理由に年1回の清掃は不要と自己判断していることによって、一括契約に結びついていない現状がある。今後も引き続き認定管理士による単独浄化槽検査の実施を推し進め、この法定検査結果によって、年1回の清掃が必要であることを認識できるように働きかけを強めていきたい。

なお、神山村における協議会加入の単独浄化槽については、浄化槽管理士特別認定制度による認定管理士によって200件の法定検査(一次検査)が行われた。

<開催事業>

(6/7日) 神山村きれいな水づくり推進協議会 第6回通常総会

(3/29日) 神山村きれいな水づくり推進協議会会議

浄化槽設置数(10人槽以下): 1, 841基 維持管理一括契約数: 483基 (26.2%)

神山町きれいな水づくり協議会



第6回通常総会(6/7日)



協議会会議(3/29日)

3) 検査率向上、維持管理の徹底を図る方法として、平成25年度から開始した「浄化槽管理士特別認定制度」では、認定管理士による一次検査を推進するために取り組んでいるが、実績は伸び悩んでいる。今後は、会員企業を回り、一括契約制度及び認定管理士制度の推進を図るとともに、11月には、多くの設置者に制度の周知ならびに検査業務が行えるよう、特別認定管理士講習会を開催し、認定管理士の増員を図った。

行政を主体とした浄化槽管理士特別認定制度審査委員会では、現在までのスクリーニング試験やクロスチェックといった信頼性確保への取り組みに対して行ってきた結果について報告を行い、運用状況面での承認を受けた。また、制度改正として、登録した日から1年間としていた有効期限を該当年度末までとし、更新講習会の参加機会を拡大した。

<浄化槽管理士特別認定制度>

検査員と同等の知識・技能を有する浄化槽管理士を、検査機関が特別に認定し、法定検査の一部業務を委託する制度であり、自動車の民間車検場と同様の機能を持ちます。

この制度を活用することにより、受検率の向上はもとより、会員事業者は、他業者との差別化が図れると同時に、設置者の手間の軽減等、利便性も向上します。

①当該制度では認定管理士に対し、1年ごとの更新手続きを義務づけているが、今年度からは利便性を高めるため、地域ごとに「特別認定管理士更新講習」を開催し、一次検査における精度管理の説明や水質検査機器類のクロスチェックを行った。

6月23日	第8回浄化槽管理士特別認定制度審査委員会
9月27日	第1回浄化槽管理士特別認定更新講習会(徳島)(受講者23名)
9月28日	第2回浄化槽管理士特別認定更新講習会(南部)(受講者8名)
9月29日	第3回浄化槽管理士特別認定更新講習会(西部)(受講者11名)
11月30日	平成29年度浄化槽管理士特別認定講習会(徳島)(受講者3名)
1月25日	浄化槽管理士特別認定講習二次講習(実地研修)(受講者5名)
2月23日	第4回浄化槽管理士特別認定更新講習会(徳島)(受講者25名)
3月22日	第4回浄化槽管理士特別認定更新講習会(追加講習)(受講者2名)
3月23日	第9回浄化槽管理士特別認定制度審査委員会

【認定管理士・指定事業所(平成30年3月31日時点)】

認定管理士 — 73名、 指定事業所 — 30社

【認定管理士による一次検査実績】

677件(那賀町-312件、神山町-200件、その他-165件)



4) 一括契約協議会の推進

市町村単位に設立された一括契約協議会では、美馬市・つるぎ町・海部郡においては関係業者により契約が勧められ、僅かではあるが、実績が出てきた。それぞれの総会においては、一括契約の推進方法・行政と協力した普及啓発方法などが協議された。

実績の無い市町村については、実運用に取り組めるよう、一括契約加入時の事務取扱や推進方法について協議していく。

なお、美馬市及びつるぎ町浄化槽一括契約推進協議会については、7月6日に開催された総会にて両協議会を統合し名称を「みま水環境保全協議会」とすることが決定された。

- 6月22日 第3回 海部郡浄化槽一括契約協議会 通常総会
- 7月6日 第3回 美馬市・つるぎ町浄化槽一括契約推進協議会 通常合同総会
→両協議会を統合し「みま水環境保全協議会」とする
- 8月1日 みま浄化槽システム会議

【設立済市町村】

三好市、海部郡(3町)、美馬市、小松島市、勝浦町、上勝町、那賀町、神山町、つるぎ町

5) 継続検査申込の推進

平成28年度から、毎年の設置者による依頼手続きの煩雑さを解消するため、次年度以降の検査申込のやりとりを省略し、検査を実施できる「継続検査申込」の受付を開始した。

今年度から、「継続検査申込」を希望した施設については、センターから返信不要の「訪問予定日通知」を送付し、検査実施できるようになった。現時点では、大きな問題もなくほぼ順調にスタートしており、設置者の申込の手間だけではなく、検査機関にとっても、連絡が取れず検査不能となる施設が減少される見込みである。

申込受付数は、16,384件にのぼっており、ほぼすべての施設で継続検査が実施できている。

(2) 検査台帳の整備及び浄化槽データの管理に関する事業

- 1) 平成29年度は5支所で新設浄化槽2,769基(うち27基は取下げ届提出)の設置届出書及び計画書を受け付け、昨年と比較し、52基減となった。また、検査実施後の指

導による無届浄化槽の届出も74基あった。

制度化されて6年目となる「浄化槽維持管理標準契約書」（以下「標準契約書」という）についても、申請に併せて2,537基分（前年同期比48基減）の契約書を受け付けた。

なお、標準契約制度は概ね順調に推移しているが、経年に伴い、受検率の低下及び未収金の増加という状況が見受けられる。

検査員及び電話アポインターによる受検勧奨及び督促を行っているが、契約を行っていることの認識があるにもかかわらず受検及び支払拒否をするケースも散見される。

6,000千円（徳島県委託事業）

その他の浄化槽に関する各種申請受付状況はP.41～P.43のとおりである。

- 2) 郵便物の届かない浄化槽や新設浄化槽、建売物件の入居状況等を2名の調査員と一部検査員によって再調査し、検査対象浄化槽のデータ整備を図った。

調査による現場確認数 5,406基

(3) 不適正浄化槽の改善指導と水質改善に関する調査研究事業

- 1) 不適正浄化槽については、まず、検査結果書により改善を促し、さらに、改善報告のない浄化槽に対しては、関係行政機関（県水・環境課、県民局（福祉局）、土木、市町村）から文書による改善指導を行っている。29年度の関係行政機関からの改善指導はP44のとおりである。

不適正と判定された浄化槽16,761基（指導項目総数17,644項目）に対し、改善指導を行った結果、平成30年3月末までに2,544項目の改善報告を受け付けた。関係行政機関別の内訳は次のとおりである。

指導する関係行政機関	指導対象	主な指摘内容	指導件数	改善報告数	改善確認数
県 水・環境課	保守点検業者	保守点検不備	8,206 件	1,838 (22.4%)	-
保健福祉局・県民局	浄化槽管理者	無管理等	7,630 件	560 (7.3%)	-
土木事務所	浄化槽管理者	破損等	446 件	85 (19.1%)	63 (14.1%)
市町村	清掃業者	清掃不備	1,362 件	61 (4.5%)	-
合 計			17,644 件	2,544 (14.4%)	63

※破損等（土木事務所指導分）の改善報告については、再度現場にて改善確認を行っています。

改善報告率は年度未分途中のため低い数値であるが、最終的には20%程度の数値となると思われる。

また、この表から分かるように、平成26年度に「徳島県浄化槽事務取扱要領」・「徳島県浄化槽の設置及び維持管理要領」で標準化された点検・清掃記録票について、一定の猶予期間を経て、平成28年4月から所定様式の記録票が使われてない場合は業者指導を行う事となったため、水・環境課から保守点検業者に対する指導件数、並びに市町村から清掃業者に対する指導件数が多くなっている。

標準化された記録票の使用が徹底されるよう、今後も引き続き指導し、改善につなげたい。（平成29年度以降は、新規設置者講習会（浄化槽教室）での記録票の説明を行っています）

- 2) 浄化槽技術検討委員会では、水質改善に関する調査研究対象として、不適正浄化槽の中から水質が悪化している浄化槽で、且つ原因が不明のものを選び、保守点検業者等と連携を図りつつ二次検査を実施した。実施件数及び結果は下記のとおりであり、結果については設置者・保守点検業者に連絡済である。

〈浄化槽技術検討委員会の役割〉

- 浄化槽管理士・技術管理者・環境計量士等の有資格者である職員と外部の学識経験者で構成する
- 上記二次検査により、水質悪化の原因を究明すると共に、有効な改善策を提示するための協議を行う（機能評価部会）
- 特別認定管理士の審査に伴う各種資料の収集と、データの確認・検証を行う（クロスチェック部会）

〈浄化槽技術検討委員会の開催〉

4/27、6/20、8/25、10/31、1/16、2/26 （計6回）

水質悪化原因	件数	二次検査内容
一過性による基準値の超過	1件	使用状況聞取、採水4箇所(各8項目分析+各5項目測定)
流入水量の過多(短時間的なもの含)	2件	使用状況聞取、採水4箇所(各8項目分析+各5項目測定)
沈殿槽底部の堆積汚泥の過剰堆積	1件	使用状況聞取、採水4箇所(各8項目分析+各5項目測定)
送風機圧力不足、空気量分配調整不良	1件	使用状況聞取、採水4箇所(各8項目分析+各5項目測定)
ピークカット移送装置の稼働不良	2件	使用状況聞取、採水4箇所(各8項目分析+各5項目測定)
合計	7件	

3) (公財) 日本環境整備教育センターからの委託により、調査対象として選定された浄化槽が、全国浄化槽推進市町村協議会の浄化槽設置整備事業における国庫補助指針に適合した浄化槽かどうかの現地調査を行った **397千円**

(4) 浄化槽の機能保証制度に関する事業 4, 124千円

平成29年は全浄連が行う機能保証制度の登録申請書1617基（取下除く）を受付し、全浄連及び管轄の市町村には、保証制度登録者受付台帳を送付した。また、設置者には、機能保証登録証とともに適正な維持管理のパフレット及び「標準契約書」の控えを送付し、使用後の適正な維持管理についての周知を図った。(P.45)

	28年度		29年度		前年度対比 (取下除)
	申請件数	取下げ	申請件数	取下げ	
書類申請	1,551基	88基	1,346基	56基	▲173基減
電子申請	396基	9基	337基	10基	▲60基増
合計	1,947基	97基	1,683基	66基	▲233基減

(5) 浄化槽の適正な施工及び維持管理に関する啓発及び相談、確認調査等の事業

①浄化槽に関する普及啓発事業として下記事業を行った。

〈環境広報委員会の開催〉

委員長：工藤恵子氏（有光エンテックス）、
副委員長：谷尚美氏（池田浄化槽清掃管理センター）

（第1回委員会（7/27））

平成28年度事業実施報告が行われた後、平成29年度の実施事業について協議を行った。

- ・平成 28 年度事業実施報告について
- ・平成 29 年度実施事業について
- ・今後の事業実施計画等について

(第 2 回委員会 (2/5))

以下の事項について事務局報告ならびに委員による協議を行った。

- ・平成 29 年度実施済み事業実施報告と事業内容の検証
- ・平成 30 年度実施事業計画について
- ・阿南市活竹祭への参加について

<浄化槽月間 啓発活動>

県主催による浄化槽月間街頭啓発活動に参加し、パンフレットの配布やアンケートの実施を行った。

- 10月20日 ハローズ鳴門店でパンフレット配布・アンケートの実施
- 10月24日 ショッピングプラザアピカにて、パンフレットの配布・アンケートの実施
- 10月26日 フレスポ阿波池田でパンフレット配布・アンケートの実施
- 10月26日 マルナカ脇町店でパンフレット配布・アンケートの実施

<阿南市活竹祭 啓発活動>

- 2月25日 阿南市活竹祭にて啓発用ブースを出店。パンフレット配布・アンケートの実施

浄化槽月間 啓発活動



(ハローズ鳴門店 10/20)



(アピカ (阿南市) 10/24)



(フレスポ阿波池田 10/26)



(マルナカ脇町店 10/26)



阿南市活竹祭(2/25)

- ② 5支所窓口において、来所する設置者や業者を対象に専門的な知識を持っている職員が浄化槽の適正な施工や維持管理等に関する相談に随時対応した。
- ③ インターネットによるホームページを活用し、浄化槽のしくみや正しい知識に関する情報を適時に掲載し、浄化槽の適正な施工及び維持管理の普及啓発に努めた。
- ④ 県の委託事業である、浄化槽関係書類の受付業務については、届出された設置届出書等の内容を審査し、浄化槽設置者データを登録、設置者には受理通知書を送付した。
- ⑤ 設置届けに添付が義務づけられた「標準契約書」については、50人槽以下の浄化槽全ての添付を確認し、維持管理を行う業者には契約手続き完了の通知を行った。
- ⑥ 受付した浄化槽のうち、市町村の補助対象となっているものについては、7条及び11条検査の申込書、設置届出書（又は計画書）、「標準契約書」の控えや検査料払込証明書、設置情報確認書などを発行又は送付した。
- ⑦ 平成29年度の委託事業である下記市町村の設置確認検査及び事前検査は次のとおりである。

市町村	事業内容	平成28年度	平成29年度	前年度対比
徳島市	設置事前検査業務	688基	613基	▲75基
	設置確認検査業務	626基	571基	▲55基

(6) 浄化槽に関する講習会・研修会の開催事業

① 新しく浄化槽の設置届出手続きをした方を対象に浄化槽教室を開催し、受講者には受講証明書を発行した。また、市町村担当課には、受講者台帳を送付した。(P.46)

今年度の受講者数が1,713名、受講率は61.8%と前年度比12.2%減少しているが、申請年度と受講年度が異なる(年度を跨ぐ繰り越し)ケースが増えているため、結果的に、受講率は75%以上を維持するものと思われる。

	28年度	29年度	差異
対象数	2,518基	2,772基	254基
開催回数	41回	40回	▲1回
参加者数	1,864名(74.0%)	1,713名(61.8%)	▲151名

※対象数(申請数)には、未着工、未完成分も含まれており、結果的には75%以上の受講が見込まれます。

浄化槽教室(40会場)



徳島会場(6/27日)



美馬会場(2/22日)

②年度を区切りとして、各市町村の浄化槽担当者が交代するため、行政担当者を対象にセンター主催で「浄化槽担当者説明会」を実施し、浄化槽に関する各種情報を提供した。

- 日 程 : 平成29年5月25日
 開催場所 : 公益社団法人 徳島県環境技術センター
 出席人数 : 市町村行政関係者19名
 内 容 : ・浄化槽を使っての現地研修
 ・県様式の標準記録票について
 ・浄化槽コンクリート底板の施工のポイントについて
 ・平成28年度法定検査実施報告について



市町村浄化槽担当者説明会(5/25)

(7) 浄化槽に関する情報の収集、情報誌の発行事業

- 1) 各市町村が行う補助事業の補助額や必要書類についての調査を行い、その情報を取り纏めて一覧表を作成し、関係者に配布した。
- 2) 浄化槽に関する最新情報や浄化槽に関する各種データ等を載せた月刊機関誌「みどり」を発行し、各行政機関等へ配布するとともに、当法人の5支所にも備え置き、一般の方にも提供、同時にインターネットのホームページにも掲載した。
- 3) 浄化槽に関する最新情報を提供するため、全浄連が作成発行している、「全浄連ニュース」を各関係機関に無償配布した。

(8) 地域の水環境保全のため浄化槽の普及を図る事業

- 1) 徳島市の委託事業である、合併浄化槽転換推進事業では、検査員が単独浄化槽の設置者に対し、合併浄化槽のパンフレットを配布又は利点を説明し、合併浄化槽への転換を勧めた。但し、毎年ほぼ同じ設置者に対し推進しており、効果の低下が懸念されるため、配布・説明対象とその方法・内容等について、市と再度協議を行いたい。 **333千円**

転換推進啓発内容	平成28年度	平成29年度	前年度対比
パンフレット配布業務	5,685件	5,908基	223基
合併への転換説明業務	1,110件	987基	▲123基
啓発数計	6,795件	6,895基	100基

<参考 徳島市設置事前検査における設置・転換状況>

	~21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	累計
設置	2,725	672	633	656	671	584	577	637	563	7,7185
転換	357	76	91	77	73	64	68	51	50	907

転換啓発用パンフレット
(徳島市)



2) 「平成 29 年度 二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(省エネ型大型浄化槽システム導入推進事業)」の交付事業の執行団体として(一社)全国浄化槽団体連合会が選定されたことにより、当センターが徳島県内の事業推進を担当し、関係業者及び行政関係者を対象に説明会を開催した。

- 5月12日 省エネ型大型浄化槽システム導入推進事業説明会(各県団体への説明)
- 5月29日 省エネ型大型浄化槽システム導入推進事業説明員講習会
- 6月27日 省エネ型大型浄化槽システム導入推進事業説明会
(関係業者・行政担当者への説明会49名)

(9) その他地域の水環境保全及び公衆衛生の意識高揚を図るための事業

① 「みなみから届ける環づくり会議」への参加

企業、民間団体、研究機関、行政などの15団体と3名の研究者が、県南での環境課題の解決を目標に活動している産学官民の協働体である。当センターは事務局として参画、水質ワーキングに所属し、決定したイベント等の事業について積極的に参加した。

【水質ワーキング会議】5回開催

4月24日、5月22日、7月20日、9月4日、11月14日

【イベント】

2月25日 第15回阿南市フェスティバル

※アサリによる汚水の浄化実験や紙すきを実施

② 学校教育において、環境学習を熱心に取り組んでいる学校を対象に、出前講座を行い、科学実験などを通して水の大切さを学んでもらう活動を行った。

また、学校以外に、各地域で取り組む環境保全活動において、講師として招かれ、水環境保全や浄化槽についての講演を行った。

【環境学習への取り組み】

(小学校-18回、他地域住民-6回 計24回)

- 5月12日 徳島市立宮井小学校、
- 5月23日 徳島市立大松小学校
- 6月19日 小松島市立千代小学校、
- 6月30日 吉野川市立川田西小学校
- 7月26日 徳島県立図書館、
- 7月29日 脇町図書館
- 9月6日 徳島市立富田小学校、
- 9月7日 上板町立神宅小学校
- 9月11日 阿波市立林小学校、
- 9月13日 阿南市立岩脇小学校
- 9月15日 小松島市立芝田小学校、
- 9月18日 エコみらい徳島
- 9月21日 鳴門市立黒崎小学校、
- 9月22日 阿南市立桑野小学校
- 9月27日 美馬市立江原南小学校、
- 10月02日 美馬市江原北小学校
- 10月5日 美馬地区消費生活センター、
- 10月12日 美馬市立脇町小学校
- 10月20日 阿波市立一条小学校、
- 10月26日 徳島市子ども環境リーダー講座 水対策編(徳島市立八万小学校)
- 10月30日 鳴門市立桑島小学校、
- 11月12日 徳島市立川内南小学校
- 11月28日 小松島市立和田島小学校、
- 1月10日 阿南市生活排水対策実践講座



宮井小学校 (5/12)



大松小学校 (5/23)



千代小学校 (6/19)



川田西小学校 (6/30)



徳島県立図書館 (7/26)



脇町図書館 (7/29)



徳島市立富田小学校 (9/6)



神宅小学校 (9/7)



林小学校 (9/11)



岩脇小学校 (9/13)



芝田小学校 (9/15)



エコみらい徳島 (9/18)



黒崎小学校 (9/21)



桑野小学校 (9/22)



江原南小学校 (9/27)



江原北小学校 (10/2)



美馬地区消費生活センター (10/5)



脇町小学校 (10/12)



一条小学校(10/20)



子ども環境リーダー講座(10/26)



桑島小学校(10/30)



川内南小学校(11/12)



和田島小学校(11/28)



阿南市生活排水対策実践講座(1/10)

③ 「水すまし隊」による活動

県内のこどもたちに「水の大切さ」や「環境を守っていくこと」の重要性を知ってもらうため、センターの若手職員が中心となって、様々なイベントを企画し、幅広い啓発ができた。また、ホームページのブログでは、水すまし隊の活動報告や個々のメンバーからの報告を掲載した。

さらに、夏休みには、鳴門市の網干島海岸にて海洋生物調査を行い、海辺の生き物と触れ合った。

4月 2日 津田地区「六右衛門祭り」
地域の活性に貢献するため、駄菓子販売や金魚すくいを行い、同時に浄化槽の適正な維持管理を啓発した。

6月 3日 エコ eco 体験
限りある資源を大切にすることを目的とし、使用済み牛乳パックを使って紙をすき、グリーディングカードを作成した。

6月 11日 あすたむらんど「環境月間特別エコ工作」
広告やパンフレット、ラッピングシート等の廃棄予定の紙を丸めてペーパービーズを作り、ブレスレットを作成した。遊びを通じて親子で環境について考え、当センターの事業をPRした。

7月 22日～23日 海岸生物調査「夏休みこども科学実験教室」
徳島県環境管理課の委託事業として海洋生物調査を受託し、鳴門市網干島海岸で海洋生物の生態調査を行った。

8月 1日 あすたむらんど「水の日イベント～竹のてっぽうで花に水やりを～」
手作りの竹の水鉄砲やペットボトルじょうろを用いて、ため池の水を花壇に散水し、水の循環について学んでもらった。

10月 14日～15日
あすたむらんど「サイエンスフェア 2017 おもしろ博士の実験室」
使い捨てのお弁当箱の蓋に絵を描き、オーブントースターで加熱してオリジナルのキーホルダーを作った。家庭から出るゴミを再利用することで、資源を大切にリサイクルの楽しさを学んでもらった。

12月 2日 エコみらいとくしま「WINTERイベント2017」
限りある資源を大切にすることを目的とし、使用済み牛乳パックを使って紙をすき、グリーディングカードを作成した。

2月10日 エコみらいとくしま「早春イベント2018」

使い捨てのお弁当箱の蓋に絵を描き、オーブントースターで加熱して、
プラ板オーナメントを作成しオリジナルのモビールを作成した。



津田地区「六右衛門祭り」(4/2)



あすたむらんど「特別エコ工作」(6/11)



海岸生物調査(7/22-23)



あすたむらんど「水の日イベント」(8/1)



サイエンスフェア2017(10/14~10/15)



WINTERイベント2017(12/2)



早春イベント2018(2/10)

- ④ 徳島市パークアドプト清掃活動
徳島市パークアドプト清掃活動に参加し、津田海岸町の公園の除草や清掃を実施し、
地域の美しい憩いの場を確保した。
(活動実施日)

5月30日、7月28日、12月19日、2月16日 パークアドプト清掃活動



パークアドプト清掃活動(5/30)



パークアドプト清掃活動(12/19)

⑤ 「リフレッシュ瀬戸内」への活動参加

国、県、市町村等関係機関で構成する瀬戸内・海路ネットワーク推進協議会の事業であり、センターも積極的に協力している。

5月22日 金磯海岸水質検査の実施

センターの助成事業として横須金磯海岸付近の水質検査を実施し、分析結果の報告を行った。

6月10日 「リフレッシュ瀬戸内」清掃ボランティア活動の参加

会員・役職員合わせて約60名が参加し、横須・金磯海岸の清掃奉仕活動を行うとともに、参加者にセンターオリジナルのうちわを配布し、浄化槽の適正な維持管理の啓発を行った。



金磯海岸水質検査(5/22)



リフレッシュ瀬戸内清掃活動(6/10)

⑥ CSR活動報告について

ホームページ上に上記活動をCSR活動報告として公開した。

URL : <http://www.tokushima-env.jp/contents/csr/index.html>

(10) その他の事業

①職員の技術向上を徹底するため、積極的に研修会・講習会に参加し、能力・知識の向上に努めた。また、日常の業務に関わる事項として、JAF徳島支部より講師を招いての交通安全講習を実施した。

4月26日 金融高度化セミナー

5月25日 ダイキXE型浄化槽に関する説明会

6月14日、7月7日、10月27日、11月9日、12月8日

全国公益法人協会セミナー

6月21日 年金事務所主催セミナー

7月7日 人事評価制度フル活用セミナー

8月1日 下水道展'17東京

- 8月17日 交通安全講習
- 10月11日、10月26日、11月29日 商工会議所セミナー
- 10月17日 公正採用選考人権啓発推進員研修会
- 11月8日 リコージャパンセミナー
- 2月7日 年金委員・健康保険委員研修会

センターでは、プライバシーマーク認定により、作成した個人情報保護マネジメントシステムに基づいた体制で業務を行い、月1回のEラーニングによる社員教育の実施等によって、その精度を上げている。2月には年に1回の内部監査を行い、運用状況の確認と見直しを行った。

- 7月 個人情報関連規定・様式見直し（定期）
- 2月8日 個人情報保護マネジメントシステム内部監査
- 2月19日 個人情報保護マネジメントレビュー



また、同様に認証を受けているエコアクション21についてもマネジメントシステムを遵守しながら、廃棄物排出量や節電等、環境への取り組みを行っている。

- 4月25日、7月3日、10月24日、1月25日
エコアクション21推進会議
- 10月16日 エコアクション21中間審査
- 11月7日 エコアクション21リサイクル運動
- 1月26日 セミナー「エコアクション21 2017年版ガイドライン説明会」



②開催・出席した主な会議等

<徳島県災害時快適トイレ計画策定検討委員会>

徳島県における災害時のトイレの確保及び環境向上の取り組みを体系的・計画的に推進する徳島県災害時トイレ計画を作成するための委員として参加した。

8月24日 徳島県災害時快適トイレ計画策定検討委員会に参加した。（県庁）

<全浄連四国地区・検査機関四国地区協議会>

- 4月11日 全浄連四国地区・検査機関四国地区協議会総会に参加した。（高知）
- 9月14日～15日 検査機関四国地区協議会検査員研修会に参加した。（香川）
- 11月24日 九州地区浄化槽検査員研修会に参加した。（熊本）
- 2月28日 全浄連・指定検査機関四国地区協議会合同事務局長会議に参加した。（飯田橋）

※10月28日の「第11回浄化槽法指定検査機関四国地区協議会ソフトボール大会」は雨天のため中止となりました。



全浄連・検査機関四国協議会総会(4/11)



四国地区協議会検査員研修会(9/14-15)

【収益事業1】

3 計量証明事業及びビル管理法に基づく水質検査事業

(1) 計量証明事業及びビル管理法に基づく水質検査事業 31,178千円

①濃度計量証明事業として特定事業場排水の分析を主に水質分析を実施した。

平成29年度の証明件数は2,281件で売上は31,178千円であった。

競争の激化により公共施設の入札物件を落札できず、前年度比3,740千円の減収となった。(前年度比 件数:204件減 売上額:3,740千円減) (P.47)

(2) 分析業務に関する講習会・研修会・会議等

外部機関が開催する下記研修に参加し、能力・知識の向上に努めた。

<研修会の参加状況>

- 4月12日 産業保険関係者研修会
- 5月31日 Dionex IC 技術説明会 2017
- 6月16日 平成29年度徳島県計量協会通常総会
- 1月26日 原子吸光高度計実機見学
- 1月31日 徳島県計量協会環境計量証明事業クロスチェック
- 2月6日 徳島県計量協会講演会

<外部に対する研修>

- 4月6日 高知大学教育研究部センター視察
- 4月24日～26日 インターンシップ受け入れ(阿南高専学生)
- 6月29日 榊福井環境分析センター BOD自動測定機視察
- 8月21日～9月1日 インターンシップ受け入れ(高知大学生)
- 8月24日 インターンシップ受け入れ(県水・環境課)
- 8月30日 榊北信理化 BOD自動測定機視察

【収益事業2】

3 受託講習会及び業務効率化支援、並びに各種用紙・物品販売事業

(1) 浄化槽関係技術者の育成と技術向上に関する事業

- 1) 各委員会の開催(保守点検・清掃委員会、施工技術委員会)
各委員会では、直面する課題や問題点について協議した。

【保守点検・清掃委員会】計3回開催

委員長:岩本英司氏(株岩本総業)、副委員長:高橋一巳氏(トーヨー化工株)

<第1回委員会(8/28日)>

理事会からの提言された「浄化槽保守点検業務における名義貸し」について、課題や対策について協議した。

(議題)

1. 浄化槽管理士資格者による名義貸しについて

<第2回委員会(10/19日)>

引き続き「浄化槽保守点検業務における名義貸し」について協議し、理事会へ提案するための、「県浄化槽保守点検業者登録条例施行規則」および「徳島県浄化槽の設置および維持管理要領」にかかる改正案等を決定した。

(議題)

1. 浄化槽管理士資格者による名義貸しについて

<第3回委員会(2/15日)>

第2回委員会での決定事項は理事会で承認を受け、その後、県・水環境課と協議した
たので、その結果報告を行った。

(議題)

1. 浄化槽保守点検業登録に関する提案について (県・水環境課との協議結果)
2. 今期委員会の議事内容について

【施工技術委員会】計3回開催

委員長：多田 一壽氏 (多田鉄工所)、副委員長：木林 茂広氏 (アムズ(株)四国支店)
<第1回委員会 (8/3日)>

PC底板における課題や提案、工事現場での標識、浄化槽設備士特別認定制度の活用
方法等について協議した。

(議題)

1. 平成29年度の委員会活動について
2. 事務局からの提案および報告事項について
 - ・ PC底板の製品検査報告の件
 - ・ PC底板のロット番号について
 - ・ 支柱型PC底板についての提案
 - ・ 工事現場での標識について
 - ・ 適正施工についての提案

<第2回委員会 (10/26日)>

支柱型PC底板の提案や、前回からの継続事項について協議した。

(議題)

1. PC底板について
 - ・ 支柱型PC底板についての提案
 - ・ PC底板の出荷手順
2. 工事現場での標識について
3. 事務局からの提案事項について
 - ・ 浄化槽設備士特別認定証発行規定の改正案について
 - ・ 浄化槽設備士特別認定制度の活用についての新提案

<第3回委員会 (3/1日)>

施工会員から集めた浄化槽工事に関するアンケート結果の報告や、前回からの継続事
項について協議した。

(議題)

1. アンケート集計報告及び回答内容について
2. PC底板の陸打ち対策について
3. 支柱型PC底板について



第1回保守点検・清掃委員会(8/28)



第3回施工技術委員会(3/1)

2) 講習会・研修会の開催

①センター主催による浄化槽技術者講習会の開催

事業所の社員を対象に、高い技術力を持った資格者を育てるための講習会（浄化槽技術者講習）を開催した。また、もっと現場に即し業務に生かすことが出来る講習をして欲しいと、会員からの声があったため、会員事業所に講師を依頼し、会員向けの無料講習会（非会員は有料）も実施した。

No.	開催日時	講義内容及び講師	受講者数
1	8月18日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・「水質測定機器の原理とメンテナンス」 講師：公益財団法人日本環境整備教育センター 調査・研究グループ グループリーダー 仁木 圭三 氏 	28名
2	10月27日(金) (会員無料講習)	<ul style="list-style-type: none"> ・「中・大型施設におけるトラブル（失敗）の実例」 講師：トーヨー化工株式会社 中野 福生 氏 ・「浄化槽は何故壊れるのか？」 講師：豊栄設備工業株式会社 武田 尚文 氏 ・「浄化槽の構造と維持管理のポイントについて」 講師：アムズ株式会社、ニッコー株式会社 	40名
3	平成30年 1月26日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・「浄化槽の処理機能改善例と生物相」 講師：公益社団法人宮城県生活環境事業協会 元所長 杉山 宏 氏 ・「浄化槽の現場作業中における労働衛生に関する 注意およびケガ等の応急処置について」 講師：医療法人 倚山会 田岡病院 上山 裕二 氏 	23名
4	平成30年 2月16日(金) (会員無料講習)	<ul style="list-style-type: none"> ・「顧客満足と清掃業務」 講師：有限会社久保衛生 広報担当室長 城田 佳治 氏 ・「中・大型浄化槽の構造及び維持管理について (フジクリーン PCN/PCI 型浄化槽)」 講師：フジクリーン工業株式会社 大阪支店 マネージャー 伊藤 辰夫 氏 ・「浄化槽の人槽算定基準について」 講師：(公社) 徳島県環境技術センター 藍原 芳典 	30名

②会員事業所から、浄化槽設置者とのトラブルやクレーム等の対応に苦慮しているとの相談があったため、対応スキルの向上を図ることを目的として専門講師による「クレーム対応研修」を開催した。

日 程 : 平成30年2月21日
 開催場所 : 公益社団法人徳島県環境技術センター
 出席人数 : 会員事業所従業員31名
 内 容 : クレーム対応研修



第1回技術者講習会(8/18) 第2回技術者講習会(10/27) 第3回技術者講習会(1/26)



第4回技術者講習会(2/16) クレーン対応研修(2/21)

③会員従業員の資格取得の支援

会員従業員に高い知識や技能、技術力を身につけてもらうため、資格取得に関する試験対策講座を開催した。

- 4月 8日(土)～ 9日(日) 第2種電気工事講習会(筆記試験対策) 18名
(主催：(一社)日本科学技術センター)
- 6月 9日(金)～ 10日(土) 浄化槽設備士試験 受験対策講座 13名
(講師：(株)ハウステック)
- 7月 8日(土)～ 9日(日) 第2種電気工事講習会(実技試験対策) 16名
(主催：(一社)日本科学技術センター)
- 1月 27日(土)～ 28日(日)、2月 3日(土)
小型移動式クレーン運転技能講習会 23名
(主催：(一社)徳島県労働基準協会連合会)



浄化槽設備士試験対策講座
(6/9～6/10)

小型移動式クレーン運転技能講習
(1/27～1/28、2/3)

(2) 浄化槽関係業者の事業の適正化及び効率化を支援する事業

1) 昨年度に引き続き保証登録申請の電子申請を行った。

保証登録申請書の電子申請によって、浄化槽工事業者に対する申請から登録証明書発行までの事務の効率化により、期間が短縮された。

2) 平成29年度のプレキャストコンクリート底板（PC底板）の売上は10,158千円であった（昨年度期比+938千円）

また、販売する底板の品質を十分確保するため、定期的に製造工場で検品を行っている。

10,158千円

(PC底板製品検査)

4月6日、5月12日、6月9日、7月4日、8月9日、10月3日、11月7日
12月8日、1月30日、2月22日、3月13日

底板等種類	販売数量	売上金額
5人槽(1枚もの)	345枚	5,295千円
5人槽(2分割)	22枚	417千円
7人槽(1枚もの)	170枚	3,451千円
7人槽(2分割)	31枚	741千円
ブロワ台	60台	66千円
アイボルト	28本	45千円

(3) その他前各号に関連する事業

各種用紙及び物品等の販売事業

区分	品名	数量	金額
各種用紙 書籍販売	浄化槽設置届出書・計画書	3,352部	670千円
	標準契約書	2,894部	588千円
	浄化槽変更計画書・変更届出書	119部	23千円
	標準保守点検記録票	1,572部	912千円
	標準清掃記録票	687部	283千円
	構造審査申請書	11部	11千円
	工事業・特例工事業申請書	11部	5千円
	保守点検登録申請書	14部	7千円
	浄化槽処理対象人員・汚水算定要領	4部	4千円
	その他	15部	26千円
機器販売	鍵付万能フック(30cm)	1,088本	1,200千円
	鍵付万能フック(44cm)	506本	740千円
	ポータブル溶存酸素計	1台	121千円
	pH計	2台	111千円
	その他		200千円

【その他の事業】

4 管理部門（法人）

（1）法人運営に関する事業

1) 監査・総会の開催

【会計・業務監査】

4月24日

平成28年度の会計監査・業務監査を行った。

10月26日

平成29年度上半期（4月～9月）の会計監査・業務監査を行った。

【定時社員総会】

5月31日

第7回定時社員総会を開催し、平成28年度の事業報告・決算報告、退任に伴う役員を選出等を行った。

2) 常任理事会・理事会の開催

センターの運営にかかる議題をもとに常任理事会・理事会を開催した。

・常任理事会（1回）、理事会（11回）



会計及び業務監査(4/24)



第7回定時社員総会(5/31)



第40回理事会(7/18)



第47回理事会(2/19)

3) 全浄連

- 4月11日 全浄連四国地区協議会総会・法指定検査機関四国地区協議会総会に出席した。（高知 城西館）
- 5月24日 全浄連第17回理事会に出席した。（ホテルグランドヒル市ヶ谷）
- 6月29日 全浄連第5回定時総会に出席した。（ホテルグランドヒル市ヶ谷）
- 9月25日 全浄連第1回機能保証制度委員会に出席した。（ホテルグランドヒル市ヶ谷）
- 10月2日 第31回全国浄化槽大会に出席した。（ホテルグランドパレス）
- 2月27日 全浄連四国地区協議会・法指定検査機関四国地区協議会事務局長会議に出席した。（東京都飯田橋）
- 2月28日 全浄連事務局長会議に出席した。（ホテルグランドヒル市ヶ谷）
- 3月15日 全浄連 佐藤会長お別れ会に出席した。（石巻グランドホテル）
- 3月22日 全浄連第18回理事会に出席した。（ホテルグランドヒル市ヶ谷）

4) 今後のセンターの運営方針・方向性に関する会員の意見を集約するため、旧支部及びメーカー部会の意見交換会を開催した。

- 8月 2日 旧徳島支部意見交換会（徳島県環境技術センター会議室）
- 8月 8日 旧鳴門支部意見交換会（鳴門 うずしお会館）
- 8月22日 旧三好支部意見交換会（三好市保健センター）
- 8月24日 旧美馬支部意見交換会（うだつアリーナ）
- 9月 5日 メーカー部会意見交換会（徳島県環境技術センター会議室）
- 9月 6日 旧阿北支部意見交換会（鴨島 文化研修センター）
- 9月 8日 旧海部支部意見交換会（海南文化館）
- 9月12日 旧阿南支部意見交換会（阿南市情報文化センター）
- 9月20日 旧小松島支部意見交換会（小松島みなと交流センター Kocolo）

この意見交換会で得た地域の実情や様々な意見・要望について、応えることが出来るよう理事会で協議を行ってきた。その結論は未だ出ていないが、その経過報告として旧支部及びメーカー部会会員報告会を開催した。

- 3月14日 旧徳島支部会員報告会（徳島県環境技術センター会議室）
- 3月15日 旧鳴門支部会員報告会（鳴門市うずしお会館）
- 3月27日 旧美馬支部会員報告会（美馬市脇町福祉センター）
- 3月29日 旧三好支部会員報告会（三好市保健センター）

※以下の地区会員報告会については平成30年度に開催予定
阿北地区、海部地区、阿南地区、小松島地区、メーカー会員

(2) 会員の入会・退会の状況

会員の入会は、平成29年度からの入会申請書提出が2社あった。また、2社が退会した。

<会員の入・退会状況>

平成30年3月31日現在

地 区	会員数	入会会員	退会会員	差引会員数	備 考
徳 島	55社	1社	0社	56社	
鳴 門	10社	0社	0社	10社	
小 松 島	12社	0社	0社	12社	
阿 南	20社	0社	0社	20社	
海 部	7社	0社	0社	7社	
阿 北	7社	1社	0社	8社	
美 馬	11社	0社	0社	11社	
三 好	24社	0社	0社	24社	
メーカー	15社	0社	2社	13社	
合 計	161社	2社	2社	161社	

<入会会員> 2社

地 区	会 員 名	代表者	入会日	部 会
徳 島	三晃産業(株)	石川 雅一	H29. 4. 24	保守点検
阿 北	(株)尾花工業	尾花 明広	H29. 7. 18	施 工

<退会会員> 2社

地 区	会 員 名	代表者	退会日	部 会
—	前澤化成工業(株) 中国支店 四国営業所	安武 資郎	H30. 3. 31	メーカー
—	藤吉工業(株) 大阪支社	島田 吉幸	H30. 3. 31	メーカー

<会員内訳>

地 区		施 工	保守点検	清 掃	合 計
東 部	徳 島	25社	21社	10社	56社
	鳴 門	8社	2社	0社	10社
	小 松 島	8社	1社	3社	12社
	阿 北	3社	0社	5社	8社
南 部	阿 南	17社	1社	2社	20社
	海 部	3社	3社	1社	7社
西 部	美 馬	8社	1社	2社	11社
	三 好	18社	5社	1社	24社
メーカー					13社
合 計		90社	34社	24社	161社

(3) 許認可に関する事項

- 1) 徳島県告示第255号浄化槽法に基づく法定検査機関の指定
- 2) 計量証明事業登録(平成12年12月14日 第74号)
- 3) 建築物飲料水水質検査事業(平成26年2月18日 徳島県東保26水 第1号)

(4) 変更認定申請書

6/20日 役員変更に伴う変更届出書を提出

(5) 役員等に関する事項

(平成30年3月31日現在)

役 職	氏 名	勤務体系	所 属 および 役 職
会 長	大坂 利弘	非常勤	(有)大坂建材 代表取締役
副 会 長	井内 幸一	非常勤	(有)井内清掃 代表取締役
専務理事	川人 誠司	常 勤	(公社)徳島県環境技術センター 事務局長
常任理事	吉村 正	非常勤	(有)吉村建材店 代表取締役
理 事	中筋 章聡	非常勤	中筋建工(株) 代表取締役
〃	田中 勝	非常勤	(有)田中清掃 代表取締役
〃	高尾 武司	非常勤	(株)ユニペック 代表取締役
〃	真鍋 浩章	非常勤	(株)マナベ商事 代表取締役
〃	田村 茂人	非常勤	徳島環境整備(株) 代表取締役
〃	森 玄徳	非常勤	(有)森清浄社 代表取締役
〃	加統 叙男	非常勤	(株)ハウステック 代表取締役
〃	全保 恭章	常 勤	(公社)徳島県環境技術センター 事務局次長
監 事	長地 孝夫	非常勤	公認会計士 長地孝夫事務所 公認会計士
〃	志摩 恭臣	非常勤	朝田啓祐法律事務所 弁護士

(6) 職員に関する事項

(平成30年3月31日現在)

職 員 数		入 社	退 社	平均年齢	平均勤続年数
男性	53名	2名	0名	41.7才	12.8年
女性	24名	3名	3名	41.0才	11.1年
合計又は平均	77名	5名	3名	41.5才	12.2年

(7) 法令遵守に関する事項

1) 交通事故

交通事故の発生を抑止するための措置として、デジタルタコグラフ、ドライブレコーダーを導入している。また、事故件数が前年度より増加し、未だ不注意による事故を根絶できないため、今後も運転者への安全教育が必要である。

事 故 内 容		28年度	29年度	前年対比
物損事故	任意保険対象外事故	9件	11件	+2
	任意保険適用事故	3件	4件	+1
人 身 事 故		0件	1件	+1
合 計		12件	16件	+4

2) 個人情報保護

個人情報の不適切な管理を防ぐため、個人情報保護マネジメントシステムに基づき業務を行っている。

- ・個人情報保護に関する事故
なし

3) 労務管理上の事故

①安全衛生委員会を毎月開催し、労務上の事故防止や職員の健康管理について協議し職員周知・研修等を行った。

- ・労災申請件数（4件 うち検査実施中の怪我2件・事務所での怪我1件、通勤自転車転倒の怪我1件）

（前年度： 1件）

5 附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。